

12月定例市議会 一般質問(きまた昭子) 地域づくりの住民の声を聞き、

バス交通の充実を (後半)

(きまた) 社会資本としてのバスの必要性については。

(答弁) 国は概念的に社会資本ととらえていると打ち出している。本市においては総合計画や都市計画マスタープランにおいて社会資本として明記していないが、国と同様に概念的に社会資本としてとらえることが相当であると考え。

(きまた) 高齢化の進展は、マイカー利用が困難な人々の増加と共に、従来型バスの利用が困難になっている人も増加してきている。徒歩で利用できる店などの生活支援施設が減少している。これから具体的に社会資本としてどう位置づけていくのか

(きまた) ここでいう社会資本とは何か
(答弁) バスが公共交通として市民の皆様になくてはならないモノと考えている。

(答弁) 公共交通としてのバスは、マスタープランの位置づけとともにその計画に連携運動している総合交通政策において市民の生活の足として日常生活を送る中で必要な基礎と

して位置づけている。このことから通勤通学、病院買い物など市民の足を確保するためのバスなどの生活交通ネットワークの構築する必要があると考えているが、現在投入している市費(約2億円)も高額なことから、自ずと限界があるかと考える。

(きまた) 他市のコミュニティバスについて運行方法などを把握しているか

(答弁) 安城市とは平成15年4月にあんくるバスの本市への乗り入れや名鉄バスとの接続について意見交換を行った、運行本数や費用負担の課題もあり難しいとの回答。その後も継続して打ち合わせを行っている。

若い世代の疑問に答える⑤

アメリカいなりを脱却するには



問 米軍基地が日本各地に置かれていますが、「アメリカいなり」政治から脱却するには何が必要ですか。



答 根っこには日米安保条約があります。日本共産党

の志位委員長がオスプレイの配備をやめるよう申し入れをした際、藤村官房長官(当時)は日米安保条約がある限りやめられない」と答えました。

全国各地の地方新聞では、危険な低空飛行訓練などに対して「日米安保の根本的な見直し」の声があがっています。安保条約の第十条では、一方

お詫びと訂正
1月20日付け岡崎民報に掲載した「自動車諸税の廃止に反対」の記事に対して、「車がなくては生活できない地域の住民にとって、自動車税は安くなる方がよい」「車は贅沢品だろうか」など多様なご意見をいただきました。
消費税増税で国民に大負担をかける一方で、自動車税を廃止する方向について言葉不足の点がありました。
今後とも皆様にご意見をいただき、検討してまいります。

の国が他方の国に終了を通告すれば、一年後に終了すると決められています。憲法9条の上におおいかぶさる安保がなくなれば、日本は憲法9条の立場でアジアでの軍縮のリーダーとしての役割を發揮できるようになります。

戦争が終わって67年もたっているのに、外国の基地が置かれそこに住む住民が苦しめられ続けています。子や孫の世代までこのまま進むのか、安保条約をなくし別の道を進み、敵対でも従属でもない関係を作るのか。力をあわせて安保条約をなくし、自主独立、平和の日本という新しい歴史をつくりましょう。

小池晃政策委員長との20問20答
(月刊学習2012年10月号から)



党県くらし環境部長
もとむら伸子
1月22~27日

今週も愛知県内を 駆け巡りました

- 労働問題での役所と交渉
- みなと公害患者と家族の会の皆さんの会合に出席
- リストラなど労働問題で愛労連と懇談
- 中村幹雄さん講演(鈴鹿医療科学大学客員教授、消費者庁・食品表示一元化検討会委員)の「今、食の安全に求められること」学習会に参加
- 広島で被爆された沢田昭二名古屋大学名誉教授のお話を聞く会
- 名東区女性後援会つどい「日本の未来はどうなるの?」で子育て真っ最中のママたちと懇談
- 緑区でキャラバン宣伝
- 関西電力東海支社前での原発ゼロ☆アクション
- 愛知県業者後援会の皆さんの総会参加
- 自治労連臨時大会で連帯の挨拶
- 東海市「新春のつどい」
- 大府市「新春のつどい」
- 港区港楽学区後援会新年会に参加
- 稲沢市稲西後援会「新春のつどい」に参加
- 愛西市後援会「新春のつどい」に参加
- 西区浄心で宣伝
- 西区後援会「新年のつどい」に参加
- 大須商店街や金山総合駅前の中区後援会、青年後援会の皆さんとにぎやかに宣伝